

# ICTEPC パネルディスカッション

## 「企業が教育機関に期待する ネットワークエンジニア育成について」

2012/10/13 15:20-16:30

大阪情報コンピュータ専門学校

情報メディアセンター

Masaki Yamaguchi

# ディスカッションの目的

各学校のネットワークエンジニア育成の取り組みを企業の方に確認して頂き、企業が求めるネットワークエンジニアの基本スキル、資格、能力についてディスカッションを行います。

ネットワーク教育だけでなく、企業が求めるスキル（問題解決能力、コミュニケーションスキル、ヒューマンスキル、プレゼン能力）を踏まえながら、教育現場でどのような取り組みに重点を置くべきかについて、意見を交換しあい、今後のネットワークエンジニア育成の教育に反映させて行きたいと考えます。

ディスカッションの最後にまとめを行い発表したいと思います。

## ディスカッションについて

モデレータ：山口 雅樹 運営委員 (大阪情報コンピュータ専門学校 情報メディアセンター)  
パネリスト：北原 聡 運営委員 (麻生情報ビジネス専門学校コンピュータネットワーク科講師)  
中山 貴夫氏 (京都女子大学 現代社会学部講師)  
鈴木 貴実氏 (株式会社インターネットイニシアティブ 人事部 採用研修課)  
下村 正洋氏 (株式会社ディアイティ 代表取締役社長  
NPO日本ネットワークセキュリティ協会理事・事務局長)

1、パネルディスカッションの目的について説明 5分

2、各学校でのネットワークエンジニア育成の現状について 30分

- 1) 大阪情報コンピュータ専門学校での取り組み (10分 山口雅樹)
- 2) 京都女子大学での取り組み (10分 中山)
- 3) 麻生情報ビジネス専門学校での取り組み (10分 北原先生)

3、企業からの教育機関への期待について フリーディスカッション 25分

※ネットワークエンジニア育成教育、各種資格取得だけでなく、  
PBL(問題解決型授業)への取り組み、ヒューマンスキル向上等幅広く意見を頂く。

4、まとめ 10分

- 1) 各学校でのネットワークエンジニア育成の今までの経緯、現状と課題について
- 2) ネットワークエンジニア育成について うまくいったこと、難しかったこと
- 3) 問題点の確認
- 4) 今後の展開について

## 大阪情報コンピュータ専門学校 Overview

- ・ 設立 1968年
- ・ 創立理念 「汝在るところ全力を尽くせ」 金澤尚淑博士
- ・ 生徒数 約800名

専任講師による担任制度を行っており、資格取得だけでなく、ヒューマンスキル教育、就職支援等、学生にきめ細かいサポートを実現

### ・ 学園の教育指針

- 1) 実践的な専門技術と幅広い教養を教授し、即戦力となる人材を育成する事によって、21世紀高度情報化社会の発展に貢献します。
- 2) 多様化する個人ニーズに応え、学生一人ひとりを大切にします。
- 3) 産業界と連携し、技術革新・社会的

### ・ 学科 (2、3、4年制)

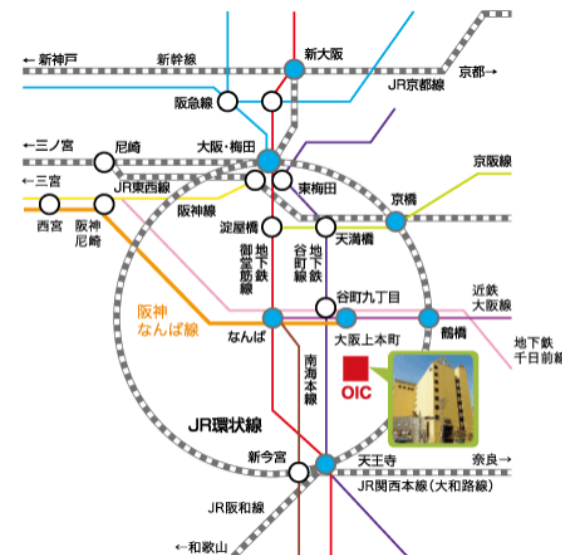
情報処理IT系

ゲーム系 (ゲームプログラミング、クリエイター)

デザイン・WEB系

CG・映像・アニメーション系

- ・ 住所 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町6-8-4



## ネットワーク教育用教室 (Cisco関連授業専用教室)



## ネットワーク教育 カリキュラムツリー

### 1年

ネットワーク技術（前期 90分x1コマ） 講義形式 基本情報処理技術者試験対策

ネットワークサーバ構築Ⅰ（後期 90分x1コマ） 実習形式 仮想OS利用 (linux,windows)

### 2年

ネットワークサーバ構築Ⅱ（前期 90分x1コマ） 仮想OS利用

### 3年

情報セキュリティ（前期 90分x2コマ） 講義形式 山口にて担当

Cisco CCNA基礎（前期 90分x3コマ） 3名の専任講師にて担当

Cisco CCNA応用（後期 90分x3コマ）

Cisco CCNA試験対策（後期 90分x1コマ）

### 4年

ネットワーク特論（前期 90分x2コマ） 講義形式

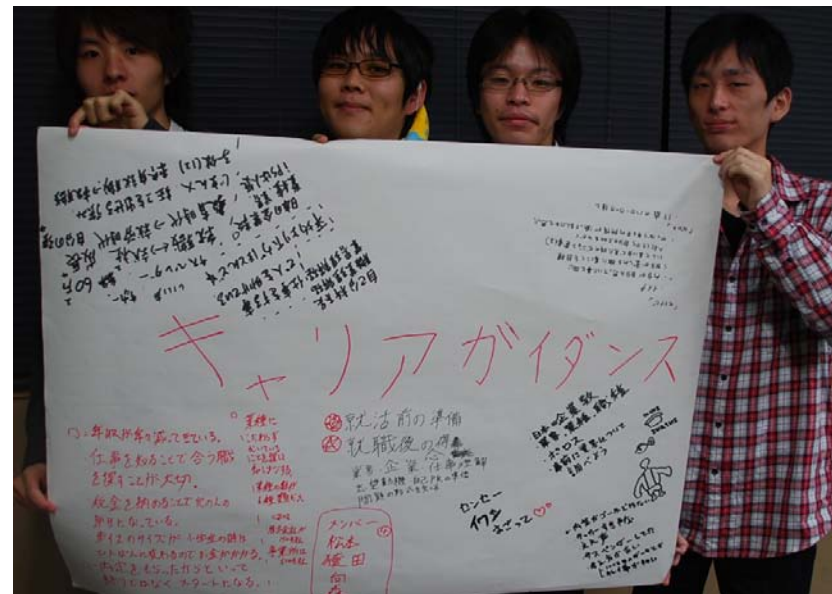
ネットワークセキュリティ実習授業Ⅰ（前期 90分x2コマ） 山口担当

ネットワークセキュリティ実習授業Ⅱ（後期 90分x2コマ） 山口担当

（仮想OSを利用 Firewall構築を通じ 実際のネットワークからの攻撃、防御手法を学ぶ）



## ヒューマンスキル教育



ゼミナール、キャリアデザインの授業にてヒューマンスキル教育を行う。

基本的な集団マナーを押さえながら、自分らしさを自主的に発揮できる力を伸ばすため、個人ワークやグループワーク、発表、演習が中心の授業を行う。

コミュニケーションスキルや、プレゼンスキルの向上も目的となる。

自分の考えを文書に書く、人前で発表する、面接で答えるという授業内容となっており、学生が積極的に授業に参加することが必要となる。

# 資格取得の目安

- 1年 ITパスポート (IPA Level1 通年)/基本情報処理技術者 (Level2)  
C言語プログラミング能力検定 3級 (7月)、2級(2月)
  
- 2年 基本情報処理技術者 (Level2)/応用情報処理技術者(Level3)  
C言語プログラミング能力検定 2級(7月)
  
- 3年,4年 基本情報処理技術者 (Level2)/応用情報処理技術者(Level3)  
Cisco CCNA/CCNP  
IPA Level4資格 (情報セキュリティSC他)  
Oracle データベース技術者資格 Bronze/Silver  
Microsoft MCP  
LPIC Linux検定試験






# キャリア支援課の目的と方針

2011年4月に就職課を改めて、キャリア支援課を設立  
(2008年秋のリーマンショック以降の内定率低下に危機感)

- 1、卒業前年度から学生の就職活動スキルの育成・向上を図る為の支援を充実していく。キャリアデザイン授業を開講。
- 2、担任が中心となり、キャリア支援課支援のもと、学生への履歴書作成支援、企業分析、就活促進支援、内定支援を行っている。
- 3、学生の就職内定を実現するために、企業とのリレーションを強化し学生に対して適正に企業紹介を行う。



# 就職活動学生 スケジュールについて

- 新入生業界講演会（今年は、シスコシステムズ 長部さん担当）
- ゼミナールにてキャリア形成の授業を行う  
（他ビジネスマナー講座、キャリアデザイン講座、SPI講座開催）

## 就職前年度

- 履歴書作成 7月末
- 6月、7月SPI対策講座
- 8月、9月 企業インターンシップに参加
- 10月、11月 面接基礎練習
- 11月 キャリアブートキャンプ（合宿での就職指導）
- 12月 就職支援サイト登録（マイナビ、リクナビ、学情）

## 就職年度

- 1月 履歴書完成
- 2月より 面接練習
- 2月より 会社説明会開催・企業訪問開始

## ネットワーキングアカデミー学生の採用例

A君 ネットワークセキュリティ学科 4年生  
LPIC-2 取得、基本情報処理技術者取得、CCNA取得

NTTスマートコネクトに内定  
サーバ構築エンジニアとして採用

B君 ITネットワークエンジニアコース 2年生  
基本情報処理技術者取得、CCENT取得

NTTネオメイトに内定 (Ciscoゴールドパートナー)  
ネットワークエンジニアとして採用

ネットワークエンジニア育成について今後どのように行うべきか？

- 1) 仮想サーバ構築や、ストレージ構築技術、Private クラウド構築技術などの最新技術まで教育していくべきか？
- 2) Unified Communication技術、IP上でのVideo会議なども盛り込むべきか？
- 3) ネットワーク監視（SLAや、Flowデータの測定、イベント監視）も盛り込むか？
- 4) ヒューマンスキル向上

その他 ネットワークエンジニアの基礎知識として取り組むべきことは？

## ディスカッションのまとめ

- 1) 各学校でのネットワークエンジニア育成のこれまでの経緯  
現状と課題について
- 2) ネットワークエンジニア育成について  
うまくいったこと、難しかったこと
- 3) 問題点の確認
- 4) 今後の展開について